

地質ニュース

昭和 53 年 7 月

第 287 号

1978

- 解 説 昭和 53 年度の地質調査所の研究(2)……………企画 室…1
- 昭和 52 年度の海外関係業務をふりかえって …海外地質調査協力室…10
- 室戸半島層群の岩相と堆積環境……………甲 藤 次 郎 朝 彦…21
- 国際会議 第 7 回環太平洋深成作用研究集会報告
(その 3) エクスカーションへ領家帯……………端 山 好 和 田 哲 雄…32
- 中近東フィールドノート①
- 海外事情 応用地質学センターと中東の諸大学……………高 橋 清…38
- 百科全書家 科学者ロモノソフ……………岸 本文 男…48
- 書庫からの便り(2)
- 動物と地震 ①……………資 料 室…56
- 知 内 SHIRIUCHI……………山 口 昇 一…64

編 集 地質調査所

表 紙 の 写 真

葛 根 田 の 大 岩 屋 (玄 武 洞)

盛岡の北西約 20km の葛根田川沿いにこの柱状節理を示す露頭がある。溪流に臨む絶壁の幅は 160m 高さは約 70m あり 昭和 18 年に国の天然記念物の指定を受けた。写真では玄武“洞”はよく見えないが 左上少し暗くなっているあたりから手前は柱状節理のある部分が大きく浸食されて 高さ約 10m の“大岩屋”となっている。一般に溶岩が冷却するときに冷却面の近くではそれと平行に板状節理が 内部ではそれに垂直に柱状節理が発達する。また普通塩基性—中性の溶岩流は薄いものが多くこのように厚いのは元々ここが地形的に溶岩のたまりやすい凹所であったためであろう。これから上流約 7km は紅葉時には特に美しい葛根田溪谷である。その終点の滝ノ上地区は 大規模な地熱地帯となっており 地熱発電所としては 我が国最大の出力を有する葛根田地熱発電所が建設され 先日その運転が開始された。

(文 須藤 茂・写真 正井義郎)

発 行 株式会社 実業公報社